西小学校
平成３０年度全国学力・学習状況調査の概要

～国語科～

Ａ問題(知識に関する問題)Ｂ問題(活用に関する問題)ともに全国・全道の平均正答率を上回る結果となりました。また、学習指導要領の領域において、Ａ問題B問題ともに「話すこと」「聞くこと」「読むこと」において学習事項の定着が見られました。

～算数科～

Ａ問題(知識を関する問題)Ｂ問題(活用に関する問題)ともに全国・全道の平均正答率をやや上回る結果となりました。また、学習指導要領の領域において、Ａ問題Ｂ問題ともに「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の領域で学習事項の定着が見られますが、A問題の「図形」においては課題が残りました。

～理　科～

全道・全国の平均正答率を上回りました。学習指導要領のＢ区分「生命」の領域の学習事項の定着が見られました。

～児童質問紙～

児童質問紙は子どもたちの学習状況、生活状況、規範意識や自尊感情などを質問形式で回答したものを集計した結果です。

＜学習状況＞

・宿題への意識は高く、出された宿題には全員が取り組んでいることがわかりました。

・家庭学習には取り組んでいるものの、全国と比較して学習時間が不足しています。

＜生活状況＞

・基本的な生活習慣が比較的定着しています。

・テレビやビデオ、ゲームをしている時間が長い傾向が見られます。

＜規範意識等＞

・規範意識が定着しています。

・自己肯定感・自己有用感が高く、何ごとに対しても意欲的に取り組む傾向が見られます。

～改善策（学校としての今後の取組）～

（１）定期的にチャレンジテストを実施し、学習の定着度を結果や数値として「見える化」し、自校の実態把握と学力向上・授業改善に役立てていきます。

（２）算数科において習熟度別の少人数グループ学習を積極的に取り入れ、「できる・わかる楽しさ」を実感させていきます。

（３）家庭学習の習慣化を図るために家庭との連携・協力をより一層深め、個に応じた無理のない、適切な家庭学習への取組を進め、質と量の向上を目指します。